

あいのわ

■発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会
理事長 橋本 弘
■連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4丁目30番5号
TEL:03-3849-1188 FAX:03-3849-7001
URL <http://www.ainowa.or.jp/>
■印刷・作成
足立区大谷田就労支援センター

足立あかしあ園 綾瀬あかしあ園 舎人あかしあ園 神明障がい福祉施設 足立区大谷田障がい福祉施設 竹の塚あかしあの杜 あいのわ支援センター あいのわ相談センター



あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、幸多き新年を迎えたことと存じお慶び申し上げます。昨年は当法人の事業運営に格別のご支援を賜り、誠にありがとうございました。

さて、昨年は綾瀬あかしあ園が開設20周年を迎える事となりました。10月28日には、足立区長近藤やよい様をはじめ多くのご来賓に出席いただき、記念式典を執り行いました。綾瀬あかしあ園は法人二つ目の施設として開設され、当初はショートステイの役割も持ち、法人の中核施設として機能してまいりました。これからも10年、20年とご利用者様とご家族の地域生活を支える施設として歩みを続けてまいります。

法人は「地域における公益的活動」基本方針を策定しておりますが、綾瀬あかしあ園は地域交流スペース「ふおりん」を運営しており、この方針の実現のためにも地域にとつてさらに価値ある施設となるよう努力してまいります。

また、今年は花畠三丁目新施設の開設に向け、ステップアップの年となります。

これまでの法人のノウハウを活かして、素晴らしい施設を作つていけるよう法人を挙げて取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご支援をお願い致します。

新施設を含め、施設運営の根幹は人材の確保と育成です。国においても外国人労働者の受入れが議論されました。介護の現場においてはその議論の前に現在の報酬体系で持続可能なのかどうか真剣に検討されるべきだと思います。厳しい環境下ではありますが、法人は人材の採用・育成について最大限の努力と工夫を行つてまいります。

皆様のますますのご健勝とご多幸をご祈念申上げまして、新年のご挨拶といたします。

一年頭のご挨拶

理事長 橋本 弘



綾瀬あかしあ園は開設20周年を迎え、10月28日(日)に記念式典を挙行致しました。この20年間、施設に関わられた皆様お一人ひとりにお祝いいただきたく、式典は三部構成にし、贈答品は感謝と希望が込もつたものが出来るよう当日まで準備して参りました。

式典一部は、足立区長近藤やよい様はじめ、区関係者の方々、足立区肢体不自由児者父母の会、後援会、近隣施設の方々からご祝辞を頂戴しました。そして20年間のあゆみを開設当初から在籍されている利用者より映像と共に紹介させていただきました。二部では、在籍利用者と職員が全員参加し、日頃よりお世話になっている地域団体や事業所の皆様に列席いただき、和やかな雰囲気の中、当日完成披露したモザイクアートは、ご利用者の方々の写真で『20』の数字を囲い、皆で支えてきた20年間が表現されました。三部のイベントでは、式典の司会も務めていただいたプロのマジシャンによるマジック＆イリュージョン、地域団体のダンスで大いに盛り上りました。

ご利用者の皆様、ご家族様、諸先輩方が、築き上げてきた20年間を大切にし、一歩ずつしつかりと歩んでいきたいと思つております。今後とも末永くご支援賜りますようよろしくお願い致します。
(金井記)



成人を祝つ会

足立あかしあ園

平成31年1月8日に「平成30年度 成人を祝う会」を執り行いました。

当日は利用者の方々、来賓の方々、保護者の皆様に迎えられ、1名の方がめでたく成人を迎えるました。

凛々しいスーツに身を包み、時折笑顔も見せながらリラックスした表情でご入場されました。来賓の方から挨拶の際は真剣な表情でお話を聞かれていました。ご参列の皆様からたくさんの拍手をいただき、温かい成人を祝う会を行うことが出来ました。

(百瀬記)



(大手記)



神明福祉作業所
神明福祉作業所では今年度、3名の方が新成人を迎えるました。
澤山の拍手の中を新成人の方々がはにかみながら入場され、「成人を祝う会」が始まりました。
20年前に開わるクイズでは新成人の方々がクイズを出し、スライドショーでは様々な作業や行事に参加する姿が見られ、抱負発表では緊張しながらもお一人ずつ、力強く話されていました。
記念品や花束を贈られ、新成人の方々の照れているような、それでいて凛々しい姿に、職員皆さんもお一人ずつ、温かい気持ちになりました。

新成人の皆様、本当におめでとうございます。

(市川記)

神明福祉園

神明福祉園では、3名の方が成人を迎えるました。先輩利用者の司会で「成人を祝う会」が始まり、恩師からのお祝いの言葉と学校時代の思い出話で、笑顔に包まれていました。

後半は御家族からの思い出エピソードで、会場を大いに盛り上げて頂き、先輩利用者の方々からお祝いの言葉や記念品が贈呈されました。締めはご家族の皆さんにノンアルコールのシャンパンを開けてもらい、「ボンツー！」と開く音やシャンパングラスで乾杯し、成人を迎えた第一歩として思い出に残る会となりました。



(熊田記)



内定者懇親会

12月15日に、
2019年度入職内定者懇親会を行いました。

採用試験を経て一緒に集まるのは初めてと言う事で、皆さん緊張した面持ちで始まりました。自己紹介から始まり、法人の仕事内容をまとめたVRT鑑賞。昼食時には実際に利用者が食べている給食をそれぞれの状態に合わせた食形態ごとに試食を行いました。



午後には竹の塚あかしあの杜の利用者の皆さんと「風船バレー」を行い、交流をしました。参加した内定者からは「実際に見聞きする事で、イメージがついてきた」等と、新年度の入職に向けて少し不安材料が払拭できたようでした。

4月からはいよいよ入職。共に利用者の為により良い支援をしていける様にがんばりましょう!

市原記

新パンフレットについて

平成30年11月に法人のパンフレットを新しくさせていた
だいております。

その際には利用者の
方に挿絵として入れさせていただいています。

法人をイメージするイラストをテーマに作成いただき、それぞれ個性ある作品に仕上がっています。

ご協力いただきまし
た皆様、誠にありがとうございました。



投稿欄（俳句・川柳など募集中です）

草匂ふ朝餉の椀の七日粥

秋山 啓司

▼この一句

「草匂ふ朝餉の椀の七日粥」

森 白象

編集後記

●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願い、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行つております。

一人でも多くの方々にご賛同いただき、後援会への加入ご支援をお願い致します。
申し込み・お問合せは後援会事務局
電話（3849）1188まで

【寄附】

（株）アドバンス、藤巻暎一、西澤宏、松尾進、霜田文夫、西村文雄
都立青井高等学校生徒会

後援会だより

平成30年9月～平成30年12月 敬称略・順不同

【一般会員・団体会員】（1□3千円～5千円）

渡邊優美、西澤宏、松尾進、霜田文夫、西村文雄

屠蘇は邪気を払い健康長寿を願つて正月に呑む縁起物の酒であり風習である。
毎日が平凡であるのはその人が平穏無事な生活を送つてゐる証拠で、平凡な毎日の中に入り込んでやよろこびが、たくさん詰まつてゐるものだ
と思う。
(秋山)

新年あけましておめでとうございます。
本年最初の法人ニュースをお届けします。
寒さも厳しく、インフルエンザや感染性胃腸炎なども流行つてあります。法人各施設でも感染症予防には力を入れて取り組んでおります。
今号は各施設で成人を迎えた方々の様子をお届けしました。成人として益々のご活躍をお祈りいたしました。

市原記

